

令和3年度 自己評価評価

学校法人カトリック学園
認定こども園 カトリック明野幼稚園

1. 園の教育目標

神の愛に満ちた良心を育み、モンテッソーリ教育による意欲的に挑戦し、喜んで学べる子どもを育てる
幼稚園教育要領で示されている「幼児の終わりまでに育てほしい姿」に取り組む

2. 本年度に定めた重点的に取り組む目標

自己肯定感を高める為に、日常生活や行事などを通して成功体験を増やす。教師は前向きな言葉で心を育てると共に善悪の判断ができるように伝える

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み内容	自己評価	評価
教育課程	<ul style="list-style-type: none">・認定こども園の状況を踏まえた教育目標・重点目標の設定・年間指導計画の作成・職員間の子どもに対しての共通理解・各クラス・各横割の運営	各担当で話し合い年間指導計画、アプローチカリキュラムの作成を行った。 話し合った内容を記録し、参加していない職員にも共通理解ができるように工夫した。 各担当で指導計画をもとに話し合い、保育を実施した。	B
研修 (資質向上の 取り組み)	<ul style="list-style-type: none">・教育の質の向上を図る・園内研修・園外研修	感染対策の為中止になった研修も多かったが、リモートなどを活用し保育の質を高めるように努力した。 研修に行っていない職員への周知が難しかったため、次年度からは時間をもうけ、周知出来るように努めたい。	C
教育環境整備	<ul style="list-style-type: none">・施設整備の安全、維持管理の為の整備・遊具・用具・図書整備	安全管理リーダー、防災管理リーダー、各クラスの担任が定期的に遊具や設備の点検をした。	A
食育の充実	<ul style="list-style-type: none">・食物の観察と収穫(さつまいも)・栄養士から食育指導を受ける	園の畑でさつまいもを栽培し、観察、収穫をした。 栄養士から食育指導を受け、毎日の献立表に子どもにわかりやすいように栄養素を表示したことにより、関心が高まった。	A

特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育の理解を深める ・ 該当児に対しての個別の配慮 ・ 医療・福祉などの関係機関との連携 ・ 家庭との連携 ・ 療育施設への見学 	<p>特別支援関係の研修に出席し、特別支援における質の向上を図った。</p> <p>気になる園児に対しては発達支援機関と密に連絡をとり、対応を協議した。</p> <p>職員、保護者、支援機関との話し合いの場を設け、実施した。</p>	A
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て相談の実施 ・ 未就園児登園の実施 ・ 子育て情報の提供 ・ 保護者による読み聞かせサークル 	<p>未就園児を対象につぼみ保育を実施した。</p> <p>園庭開放を行い、子育てや就園についての相談に応じた。</p> <p>保護者による読み聞かせサークルはコロナウイルス感染防止のため実施できなかった。</p>	B
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミルク献金 ・ 世界子ども助け合い献金 	<p>定期的に献金をつのり、シスターを通してネパールの子どもたちへ届けた。</p> <p>実際にきた手紙や写真を通して、自分たちと同年代の子どもたちにこころをよせた。</p> <p>カトリックの援助機関であるカリタスジャパンを通して世界の子どもたちの教育用品の購入などに協力した。</p>	A
保健管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナウイルス対応 ・ 家庭や医療機関等の連携 ・ 日常の健康観察、疾病予防 ・ 健康診断 ・ 事故等の緊急事態発生時の対応 ・ 職員の健康管理 	<p>コロナウイルス感染防止の為、園児・職員の日々の体温・体調を記入し管理を行った。</p> <p>学校薬剤師が定期的な検査を行い、園内の衛生管理を行った。</p> <p>内科・歯科の検診を行った。</p> <p>けが、体調不良などを把握するために、所定の用紙に記入した。</p>	A
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校防災計画等の作成、実施 ・ 危機管理マニュアル等の作成、活用 ・ 安全点検、教職員の安全対応能力の向上 ・ 学期に一回の交通安全教室の実施 ・ 安全運転管理者講習への参加 	<p>避難訓練を毎月行い、年に一度防犯訓練・引き渡し訓練を行った。</p> <p>防災用品の見直しを8月に行い、防災について職員で話し合いをした。</p> <p>交通安全教室を学期に一度開催し、子どもたちの安全意識を高めた。</p>	A

保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事における保護者参加 ・ 園だよりの発行 ・ 登園・降園時 	<p>昨年度に続き、コロナウイルス感染防止の為各行事の縮小、中止が多く保護者が参観できる行事が少なかった。</p> <p>登園・降園時に子どもの様子を伝えるように努めた。</p> <p>年度末にクラスだよりを発行した。</p>	B
---------	--	---	---

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	昨年度に引き続きコロナ禍の中、実施できない行事等も多かったが、職員で話し合い工夫しながら実施した。

評価結果の表示方法

A = 十分達成されている B = 達成されている C = 取り組まれているが、成果が十分でない
D = 取り組みが不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
研修報告・園内研修の実施	全職員の参加は難しいが、時間を設け取り組む
保護者との連携	保護者への情報提供の仕方を工夫し行う

6. 施設関係者評価 (第三者委員 1名 年長保護者代表 2名)

保護者アンケートの集計を受けてのコメント

1	園児について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園児は良く出来ていると思いました。 ・ 縦割り保育のため、年上の子は年下の子に優しく教えることで自分に自信を持つようになり、とても良いのではないのでしょうか。
2	幼稚園について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の方の不満も少ない気がしました。 ・ 食育について、給食は自宅では作れない物が出たり、また栄養を考えて作られているので、親としてはうれしいです。 <p>コロナ前はランチルームでお友だちと食べる事が出来たので、食事をする楽しさも学べたのではないのでしょうか。</p>

学校評価アンケート・自己評価の結果を見てのご意見

<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で仕方ないのですが、保護者の方が園内の様子が見えない事に不安を持たれていると思いました。 保護者同士のコミュニケーションが出来ない為、子ども達の情報交換が少ないのでしょうか。 ・ 先生方は園児一人一人を見て、保護者の方に話し、対応していると思いました。評価は良いと思いました。
--

- ・おしごとで子どもたちに興味を持たせるのに声掛けしてくれたり、向き不向きはありますが、いろいろなおそごとにチャレンジできたかなと感じました。
- ・このコロナ禍で行事が中止になったり、観覧が制限されたりと、以前とは違い、何かと残念なこともありましたが、先生方も子どもたちのことを考え、行動してくれたとそう思っております。
- ・部外者ですが、外で遊んでいる子どもたちに癒されています。季節ごとの行事では特にです。夏のプール時には頬がゆるみます。七夕かざりなどなど 日本風習はいいなと郷愁を感じたりしています。
コロナで大変ですが、行事は続けてほしいです。
マリア様が喜んでくれていると思います。